



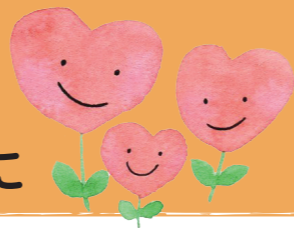
区議会議員 高岡じゅん子

区議会議員 田中みち子

区議会議員 金井えり子

世田谷・生活者ネットワーク

東京を「生活のまち、安心・共生・自治のまち」に



【編集・発行】2021年1月20日号
世田谷・生活者ネットワーク 代表/山木きょう子
〒154-0017 東京都世田谷区世田谷1-16-16安藤ビル301
TEL: 03-3420-0737 FAX: 03-3706-1744
email: setagaya@seikatsusha.net
http://setagaya.seikatsusha.me

生活者ネットワークは、エネルギーシフトの実現に向け、電力調達先を自然再生エネルギー100%に切り替えることなどを区に提案し実現してきました。昨年10月には「世田谷区気候非常事態宣言」と同時に、区議会からも国に対し「地球温暖化防止対策の着実な前進を求める意見書」を提出し、エネルギーシフトを後押ししています。世田谷区が2年前に策定した地球温暖化対策地域推進計画で、CO₂の削減目標を50年までに80%としているのは問

世田谷区気候非常事態宣言

2021年は最大のCO₂排出国である中国とアメリカが揃って、パリ協定達成に向けて動き出します。日本も温暖化ガス排出量を50年までに実質ゼロにする目標のもと、次世代太陽電池やカーボンリサイクル、水素などの技術革新を推進すると表明しました。

昨年、新型コロナウイルス感染症に全世界が翻弄された1年でした。そもそも、新興感染症の発生は、原生林の伐採により野生生物の住処が失われ人とグロブアル経済の弱点も明らかになりました。石油や石炭などの化石燃料に依存する経済社会モデルは、全世界的に見直しが求められています。

世田谷から東京へ エネルギーシフトに踏み出すチャンスの年に!!



エネルギーシフトを訴える政策委員の関口江利子

生活者ネットワーク

東京都「ゼロエミッション東京戦略」を打ち出しています。世田谷区単独では進めることができなかった、住宅の環境性能評価や、新築住宅に対する環境性能に合わせた補助制度など

ゼロエミッション東京戦略

題です。来年度は、若い世代の声も取り入れ、パリ協定の理念に合った形で「推進計画」をより効果的なものに見直すよう求めていきます。



が都と区の連携で実現し、住宅都市世田谷の省エネと創エネが飛躍的に進むことを期待します。エネルギーシフトを進めるためには、これからの十年間が非常に重要です。今年こそ世田谷から、次世代の子ども達に胸を張って手渡せる東京にむけ、大きな一歩を踏み出すことをめざし、世田谷・生活者ネットワークは活動していきます。



- 1 議員は交代制(ローテーション)
- 2 議員報酬は市民の政治活動資金に
- 3 選挙はカンパとボランティアで

「香害」の周知徹底

柔軟剤等の強い香り(化学物質)による健康被害、香害について周知が進んでいません。自分の香りが他の人の体調不良を引き起こす、誰もが化学物質過敏症になる可能性があることをしっかり伝えていくべきです。

日本消費者連盟の香害アンケートで、原因は柔軟剤86%、香り付き合成洗剤73%でした。メーカーへの販売・開発禁止とともに

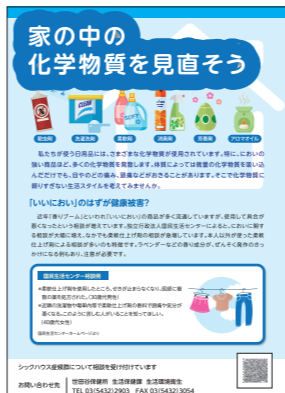


世田谷区内の農地で作業をする関口江利子(右端)

自然を感じる場などとしても求められます。一方で大規模敷地での利用用途の変更などにより大きな木が切られていきます。この状況については、区有地だけでなく大規模開発の機会をとらえ地区に必要な公園、緑地の整備を事業者に働きかけていくことでした。

強い香りの使用自粛を求める声が伝えられています。区では平成30年度より化学物質過敏症に関する相談窓口を設置し、香害のご相談が寄せられるようになりました。

香害啓発チラシはまちづくりセンターや図書館などの公共施設に置きもつと活用すべきと求め、今後は幅広く配布、SNSなども使い周知を進めるとの回答でした。一歩ずつですが、訴え続けていきます。



「家の中の化学物質を見直そう」パンフレット



区役所での啓発展示



石けんをアピールする金井えり子

カンパをお願いします

生活者ネットワークの活動は、カンパとボランティアで支えられています。カンパは、100円、1,000円からいくらかでもいつでもOKです。どうぞよろしく願いいたします。

【ゆうちょ銀行】世田谷・生活者ネットワーク
記号) 00110-1-765709
店名) 108 普) 0765709



都政担当政策委員 関口江利子 世田谷区議会議員 金井えり子 世田谷区議会議員 田中みち子 世田谷区議会議員 高岡じゅん子 前都議会議員 西崎光子

暮らしの中での困りごとなど、お気軽にご相談ください。

お知らせ

●世田谷区議会 令和3年第1回定例会
2月24日(水)～3月29日(月)

2月25日・26日に3人の区議が一般質問予定(各10分)。3月中は、予算特別委員会でも討議に参加します。質問予定時刻など詳しくは2月20日以降に世田谷・生活者ネットワークHPでお知らせします。

●世田谷・生活者ネットワーク オンライン
議会活動報告会 3月31日(水)10:30～

●世田谷・生活者ネットワークの公式LINEを開設しました!

イベント予定などを順次お知らせいたしますので、ご登録をお願いいたします。



公式ラインの登録はこちら

郵便はがき

料金受取人私郵便
世田谷郵便局承認

0352

〒154-8790 352

世田谷区世田谷1-16-16
安藤ビル301
世田谷・生活者ネットワーク
関口 江利子 行

フリガナ	性別	年代
あなたのお名前		
お住いの地域/ 世田谷・北沢・玉川・砧・烏山		
ご住所		
TEL		

●このようなレポートをお送りできる方をご紹介下さい。

フリガナ	性別	年代
あなたのお名前		
お住いの地域/ 世田谷・北沢・玉川・砧・烏山		
ご住所		
TEL		

生活者ネットワークは市民と議会・行政をつなぐパイプ役として、地方議会に議員を送りだしています。

3 せたがや生活者ネットワークのルール



高岡じゅん子
福祉保健常任委員会
地方分権・本庁舎整備対策等
特別委員会

ポスト・コロナに 向けて

冬に入り感染者数増が報じられています。私たちは、重症化リスクが高い高齢者等を施設単位で無症状のうちに検査する「社会的検査」の実現を求め、10月から実施となりました。それでも止まらない感染拡大を防ぐためには、区による更に積極的な啓発や動画配信などが必要と考え対応を求めました。既に区のHPでは、保坂区長自身が感染防止対策の強化を呼びかける動画が配信されています。更に、世田谷区独自の制度である感染症予防アドバイザーの派遣拡大なども含め対応を強化するとの答弁を得ています。

コロナ禍で仕事が減ってしまっただけに、介護など人材確保が難しい業界で短時間・短期間の食事は未実施の状態が続いています。

一方、コロナ感染症拡大防止のため小中学校での学校給食がストップした間、フードパントリーや子ども食堂などがひとり親家庭や多子世帯への弁当配布、直接家庭へ届けるなど子どもたちの食を支えています。そこで、子ども食堂とせたぜみを連携させ、地域で困難を抱える子どもとその家庭を支える体制づくりを提案しました。



子ども食堂でお弁当を配布

セーフティネットを 担う子ども食堂

子ども食堂は、虐待の恐れや困難を抱える子どもたちのセーフティネットとしても重要な役割を担っており、地域の子ども・子育て支援の中でその認識が共有されるべきです。世田谷区には、支援が必要な子どもの早期発見、早期対応や適切な問題解決に向けて、関係機関などが役割分担を行い、共通の視点で連携し対応するために「要保護児童支援協議会」を設

でも働けるマッチング事業が1月から始まります。この事業を安定した人材確保につなげるには、受け入れ側の介護事業所とマッチング事業者の双方の腰を据えた取り組みが必要です。来年度も続く15か月事業であることなどを確認し、介護現場の就労環境の改善にも取り組むことを求めました。

まちづくりセンター を中心に区民参加の 充実を



地域行政条例で区民参加の充実を!

「世田谷区基本構想」は平成25年(2013年)に区民参加で作られました。その中には「ひとりでも多くの区民が区政や公の活動に参加できるようにする」

置いています。そこで、子どもたちの第3の居場所となる子ども食堂の「要保護児童支援協議会」への参加を求め、子ども食堂のアドバイザー参加を可能にするなど協議会の運営を見直すとの答弁を得ました。

「生活保護のしおり」 を手に取りやすく

生活保護の制度を利用することは憲法で保障された基本的人権の一つです。区では、生活保護制度の説明が書かれた生活保護のしおりが非公開でした。現状の申請ありきの体制を見直し、相談へ導けるようしおりの内容を見直し、ホームページ上で公開するだけでなく相談窓口にも設置することを求め改善されることになりました。

この理想が掲げられています。今、新型コロナウイルス感染拡大のため地域活動が難しくなり、このままでは孤立や社会の分断が進んでしまうことが危惧されています。世田谷区には、5つの総合支所と28のまちづくりセンターという組織がありますが、この機能を明文化し区民との協働を進める基盤となる条例が区にはありません。来年度作られる予定の「(仮称)地域行政条例」を、地区ごとの特色ある活動を活性化し、予算などの裏付けとなるものにするよう求めました。

地区ごとの住民自身が身近な課題解決に取り組めるよう、区民主体のまちづくりを「基本構想」



地域のまちづくり勉強会に参加する関口江利子と田中みち子

に沿って進めることを確認。まちづくりセンターに多様な声を反映できる参加しやすい協議の場を作り、地区からの発想を活かした活動ができる仕組み作りをめざします。参加の区政を実現する自治基本条例的な内容が組み込まれるよう、今後も積極的に発言していきます。



田中みち子
区民生活常任委員会
オリンピック・パラリンピック等
特別委員会

外環道工事現場の 陥没事故から

調布市の住宅街で昨年10月に発生した道路の陥没は、調布市周辺住民だけでなく外環沿線にあたる世田谷区でも大きな衝撃を受けました。原因究明に向けたボーリング調査でさらに2箇所の空洞が次々と確認されています。これまで地下40メートルの深さでのシルド工法は安全な工法だとされてきましたが、その根本を揺るがす事態が起っています。

子どもの食と 学習支援を!

世田谷区では、生活に困窮する家庭や生活保護世帯の小学1年生から高校3年生を対象に、学習と食事会などの生活支援を行う事業「せたぜみ」を社会福祉協議会に委託し実施しています。しかし、コロナ禍でさらに生活が厳しくなる可能性があり、今こそ登録家庭の状況を確認するなど丁寧な対応が求められます。また、学習支援は7月から再開したもの

コロナ禍で子どもの体力低下やストレスなど、子どもの外遊びの重要性について再認識されました。子どもの遊ぶ権利の具体的な物的保障として、その環境をつくること、遊び場としての公園整備は大人の役割です。

烏山北住宅、烏山松葉通住宅建て替え計画では意見交換会が行われ、子どもの遊び場や地域コミュニティの空間にもなっている公園や広場は、今以上にしっかりと確保していく方向になったことを確認しました。

公園・緑地は子どもの遊び場のほか、防災対策、地域の憩いの場、

失われていく緑地 や子ども遊び場の 確保

世田谷の演劇人!」を行っています。ただ、これだけでは充分ではありません。生の演奏、演劇、舞踏等は短い動画とは別物です。また舞台監督、照明、音響などスタッフの技術は特別で、それを目指す若い人材があらめざるを得ない現状から、将来舞台を支える技術者がいなくなってしまうことも危惧されます。世田谷の文化・芸術を守っていくために新たな支援を求めました。

休業要請の頃、ライブハウスや小劇場は壊滅的とも言われました。再開し始めてはいるものの大変な状況が続いています。若手のアーティストやスタッフはやめてしまつ人も多く、小さな事業者も廃業に追い込まれています。持続化給付金や個人への生活面の支援等ありますが、今回は文化・芸術存続の視点から質問しました。「心潤う文化・芸術のまち」のキヤッチフレーズを持つ世田谷区では、アーティストや民間文化・芸術施設の支援として「せたがやARTプログラム」の動画配信、クラウドファンディング「がんばろう



アンケート

- あなたが今区政で関心のある事は何ですか?
(いくつでも○をして下さい)
- 新型コロナウイルス対策 ・食の安全 ・教育 ・防災対策
- 子育て支援 ・介護(福祉・医療) ・ジェンダー ・人権
- プラスチック ・ごみ ・環境問題 ・緑の保全 ・雇用問題
- 気候変動 ・若者支援 ・香害
- 都政・区政について、ご意見・ご要望、その他、ご自由に
お書きください。